V 能力評価の基準一覧表

- 「評価の基準」欄の塗りつぶし部分は、能力評価基準の様式3の「職務遂行のための基準」及び「必要な知識」の内容に対応しています。
- 「評価の基準」は整理番号で区分した塗りつぶし部分の各項目を括った内容を評価する際の基準を一文で示したものです。
- 「評価の基準」による評価は、能力評価基準において定めた「職務遂行のための基準」及び「必要な知識」がどの程度身についているかで評価する仕組みになっています。

■能力評価の基準一覧表 レベル1（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準	
	A	B	C	A	B	C			
林業の社会的責任と関係者との協働 C001L11							01	林業従事者としての倫理・姿勢を持っている	
								職業人としての自覚や社会的責任感、職業倫理を有している	
								業務に係わる関係法令や就業規則を把握できる	
								業務に支障を来さないように、自己の健康と生活時間の管理ができる	
								企業活動の基本的な目的と役割を理解できる	
								日常業務に関連する法的及び倫理的な事項について、過去に問題となった具体例（事例）を知っている。	
								02	適切な森林施業が地域社会に貢献できることを理解している
									適切な森林施業が森林の有する多面的機能を発揮させることを理解できる
									木材が人と環境に優しい素材であることを理解できる
03	隣接する地域社会との調和の必要性を理解できる								
	自分の職務範囲を理解し、上司や先輩等の関係者と協働して業務を行っている								
	自社・自部門の組織構造、所掌範囲・業務分担を理解できる								
無災害の推進 C005L11							04	安全衛生及び防災の意義を理解し、安全作業を実践している	
								現場における事故・災害をあらかじめ防ぐことの重要性を理解し、林業労働災害防止対策に従った活動ができる	
								現場における事故・災害の防止のために必要な行動が積極的にできる	
								林業機械・器具の安全機能を理解し、正しい使用法を守りながら業務を遂行できる	
								林業労働災害に関連して過去に問題になった具体的な事例を知っている	
								始業時間や休憩時間をきちんと守り、仕事の効率と安全性を高めることができる	
								05	安全衛生活動の重要性を理解し、積極的に参加している
									事故の予防のために、日ごろの自己健康管理に注意できる
									作業中に安全基準外のことが生じた場合は、速やかに上司に一報したうえで、指示に従って適切に行動できる
安全確保に関するグループ活動の目的と活動内容について正しく理解し、参加できる									
チームワークとコミュニケーション C009L11							06	作業班内でのチームワークやコミュニケーションの重要性を理解し、日常業務で実践している	
								上司や先輩からの助言や指導に沿った行動ができる	
								疑問点がある時は関係者に質問する等必ず問題の解決を図った上で業務に取り組むことができる	
								自分の権限で判断してよいことと、そうでないことを区分し、難しい問題については自分だけで判断せず、上司や同僚に質問しながら効率的に業務を遂行できる	
								職場・現場関係者等に挨拶するなど社会人としてのエチケットを守ることができる	
								チームワークをとるため、同僚との話の輪に加わることができる	
								他部門や取引先との良好な関係作りに向けて、日頃から他部門の担当者同士の話し合いやミーティングの機会に参加できる	
								他部門の担当者や取引先に対しても、誠実な対応を心がけ信頼関係を構築できる	

■能力評価の基準一覧表 レベル1（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
業務効率化 の推進 C012L11							07	決められた手順に従って効率的に業務をしている
								仕事に取り掛かる前に、求められる達成水準や仕事の進め方、注意事項等の確認ができる
								業務プロセスを理解し、決められた手順で仕事ができる
								担当業務の実施方法や実施手順に曖昧な点がある場合は、曖昧なままにすることなく、上司や先輩に質問し解決できる
							08	業務の効率化に向け、必要な工夫・改善をしている
								コスト意識をもって自分なりに工夫しながら仕事を行い、効率化や改善を試みることができる
								マニュアルに不効率な点や時代にそぐわない点を見つけた場合には、上位者に指摘ができる
								仕事を素早く習得し、そのスピードアップの取組ができる
							小集団活動など会社が組織的に業務改善に取り組んでいる場合には、積極的にその活動への参加ができる	

■能力評価の基準一覧表 レベル2（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準	
	A	B	C	A	B	C			
林業の社会的責任責任 と関係者との協働 C002L22							01	林業従事者としての倫理・姿勢を持っている	
								職業人としてのプロ意識、社会的責任感、職業倫理を有している	
								自社業務や現場の就業規則や作業関連の法令や諸ルールを理解するとともに、仕事をするにあたって過去に問題となった事例を把握できる	
								林業の社会的責任についての知識と自覚を有している	
								自社の企業理念、経営方針、社訓・綱領等の内容を把握できる	
								業務に支障を来さないように、自己の健康と生活時間を管理し、健康増進と自発的な能力向上に努めることができる	
								適切な森林施業が地域社会に貢献できることを理解し、自ら実践するとともに、関係者にも説明している	
								適切な森林施業が森林の有する多面的機能を発揮させることを理解し、現場で実践し又は関係者にPRできる	
								木材が人と環境に優しい素材であることを理解し、現場で実践し又は関係者にPRできる	
								隣接する地域社会との調和の必要性を理解し、行動できる	
無災害の 推進 C006L22							02	安全衛生及び防災の意義を理解し、安全作業を実践している	
								職場の安全衛生および防災のための基本的なルールを正しく理解したうえで、常に意識しながら業務を遂行できる	
								作業現場の安全衛生と防災に関する標語を正しく理解し、それを堅守できる	
								林業機械・器具の安全機能を理解し、正しい使用法を守りながら業を遂行できる	
								事故・災害などトラブル発生時にも冷静に対応し、部下や後輩が慌てている際には冷静な行動を促すなど、危険の拡大防止に向けた行動ができる	
								始業時間や休憩時間をきちんと守り、仕事の効率と安全性を高めるよう指示ができる	
								03	安全衛生活動の重要性を理解し、積極的に参加している
									事故の予防のために、日ごろの自己健康管理に注意できる
									安全衛生に関するグループ活動の目的と活動内容について正しく理解し、リーダー的な役割を果たすことができる
									部下の行動や態度の変化を常に意識し、不平不満、悩み事、心配事を取り除くために意見を聞く機会を設けることができる
04	安全衛生活動について上司や先輩・同僚からの助言を踏まえ、現状における問題点の発見に取り組み、職場の優先的に取り組むべき課題を整理できる								
	安全衛生活動の活性化するために創意工夫をしている								
	作業環境の危険要因を抽出し、危険防止に関する意見を提示できる								
	安全衛生に関する現場の取り組みについて、満足できた点、不足している点などに関する自己評価を行い、今後改善すべき点は整理し、上司や先輩に積極的に意見を具申できる								
								安全衛生全般で不足していた点については率直に反省し、上司の助言などを踏まえて次期の現場業務改善に活かすべく工夫できる	
								安全衛生に関する現場の検証と評価を誠実に受け止め、さらなる安全衛生意識向上に活かすことができる	

■能力評価の基準一覧表 レベル2（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
チームワークとコミュニケーション C010L22							05	作業班内でのチームワークやコミュニケーションの重要性を理解し、日常業務で実践している
								上位者の指示や指導に沿った行動ができる
								チームの目標達成や業務の効率化のために、メンバーと連携・協力しながら、業務を遂行できる
								チーム内において、上司やチームメンバーとのコミュニケーションに努め、協力的な職場環境づくりに取り組むことができる
								部下の性格を把握して、意思疎通できるように一人ひとりに具体的な内容で声をかけができる
								関連部門との業務上の連携について理解し、良好な連携がとれる
								事業所、現場等に足を運び、現場のスタッフの話を聞くなど積極的に現場における情報収集に努めることができる
業務効率化の推進 C013L22							06	決められた手順に従って、効率的に業務をしている
								従来の仕事の進め方に固執することなく、より効率的でスピーディな方法を追求できる
								常に問題意識をもって仕事に取り組み、マニュアル等に更に改善余地がないか分析できる
								各種の問題解決手法やISO、他社の好事例など、業務改善や効率化のための手法や事例に関する知識の習得に取り組むことができる
						07	業務の効率化に向け、必要な工夫・改善をしている	
							些細なことであっても業務効率化やコストダウンにつながる方法を考え、そのメリット、デメリットを考慮した具体的な改善の提案ができる	
							組織内の業務全般に関し、トラブルやロスを防ぐための提案や取組ができる	
							職場改善活動など、業務効率化におけるリーダー的な役割を果たせる	

■能力評価の基準一覧表 レベル3（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
林業の社会的責任責任 と関係者との協働 C003L33							01	<p>林業従事者としての倫理・姿勢を持っている</p> <p>職業人としてのプロ意識、社会的責任感、職業倫理を有している</p> <p>業務に係わる関係法令や就業規制を熟知するとともに、仕事をするにあたって問題となりやすい事例への対処方法を指導できる</p> <p>自社の事業、ステークホルダー（利害関係者）の重要性を理解できる</p> <p>企業活動全般に関する法的または倫理的な問題についての具体例（事例）を理解し、それが会社や現場に及ぼす影響を理解できる</p> <p>企業の理念・方針に沿った規範となる行動や態度をとることができる</p> <p>林業が自然環境、国民生活、地域雇用等に及ぼす影響を理解し、自社の社会的責務が果たされるよう、従業員に適切な行動を取るよう指導できる</p>
							02	<p>地域社会への貢献と配慮を踏まえて、部下や後輩を指導している</p> <p>隣接する地域社会との調和の必要性を理解し、職員・従業員に適切な行動をとるよう指導できる</p> <p>林業生産活動が自然環境に及ぼす影響への配慮の方策を上司に対して意見を具申できる</p>
							03	<p>上司や先輩等の関係者と協働して業務を行うとともに、部下や後輩の業務に対して適切にアドバイスしている</p> <p>自社の組織構造、所掌範囲・業務分担を理解し、適正・円滑に業務を遂行するために他部門と協調できる</p> <p>業務遂行上の問題について、関係者と調整しながら自己の判断に基づき適切な行動ができる</p> <p>部下、後輩の業務上の問題に対して、適切な助言を与えるとともに、解決に向けて一緒になって取り組むことができる</p> <p>部下の行動の法令・諸ルールへの適合性を確認し、倫理・社会道徳に即した行動をとるよう指導できる</p> <p>部門における問題・課題や顧客クレームに関する説明責任を果たすことができる</p>
無災害の 推進 C007L33							04	<p>安全衛生及び防災の意義を理解し、安全作業を実践するとともに、作業班員を適切に指導・教育している</p> <p>安全衛生および防災の意義を把握し、関連知識を正しく理解したうえで業務を遂行できる</p> <p>作業班員に対する安全教育のためのカリキュラムを企画できる</p> <p>事故が発生した場合に備えて、救護方法と緊急連絡体制について、作業班員全員に教育と訓練を行うことができる</p> <p>安全衛生体制の妥当性・実効性を常に測定し、現場管理者からのフィードバックを参照に必要な見直しができる</p>
							05	<p>安全衛生活動の重要性を理解し、自ら率先して取り組むとともに、作業班員を適切に指導・訓練している</p> <p>作業環境の危険要因を抽出し、危険防止のための対策を立て、実行できる</p> <p>安全衛生に関わる危険な作業や箇所を認識し、その改善のための対策を立て、実行できる</p> <p>作業班員に対して、安全に関する実行作業の指導と訓練を行うことができる</p> <p>安全衛生に関わる関係法令等を理解し、所定の安全衛生の対応方策を積極的に推進できる</p>
							06	<p>作業現場等における安全衛生活動を評価し、必要な対策を講じている</p> <p>安全衛生に関する作業現場等での取組について、満足出来た点、不足していた点等に関する評価を行い、現場の声を聴きながら改善すべき点は整理し、一層安全な現場作りに中心的な役割を果たすことができる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル3（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準		
	A	B	C	A	B	C				
チームワークとコミュニケーション C011L34							07	<p>作業班内でのチームワークやコミュニケーションを向上させるため、リーダーシップを発揮している</p> <p>チームの目標や業務の効率化のために、メンバーを統率し、必要な支援や指示を行うことができる</p> <p>協力的で活力ある職場環境づくりのために、メンバーの気持にも気を配り、動機づけを適切に行って、作業班内に仕事に前向きな姿勢を作り出し、高い生産性や良い品質を実現できる</p> <p>会議の場では部下の考えや提案を積極的に引き出し、業務の改善につなげることができる</p> <p>作業班の人員構成を見て、上司に後輩の面倒を見させるように意見することができる</p> <p>他部門との協力関係の調整を適切に行うことができる</p> <p>根回しや事前調整を率先して行い、自組織内における協働体制の構築を推進できる</p>		
	業務効率化の推進 C014L34							08	<p>業務の効率化に向けて、問題点の分析・検討を行い、必要な対策を講じている</p> <p>全体最適の視点をもって、組織内の業務全体について問題点や改善の余地を分析できる</p> <p>仕事の進め方のみならず、組織風土や暗黙のルールなど幅広い範囲で変革の必要性がないか検討・分析できる</p> <p>他組織の関係者の意見も取り入れながら、多面的に業務改善や効率化のための分析を進めることができる</p> <p>全体業務の効率化やコストダウンの観点から、アウトソースの要否など改善に向けた業務分析を行い、実行できる</p> <p>同業他社の業務の進め方がある程度把握し、常に指標（ベンチマーク）とすることで効率化策を策定できる</p>	
								09	<p>業務の効率化に向けて、自ら率先して業務の工夫・改善をしている</p> <p>業務効率化に向けた組織横断的な取組みを推進するなどリーダーシップを発揮できる</p> <p>不要な業務や有効性を失った仕組み・手続等について改廃を決断し、実行できる</p> <p>過去の成功事例・失敗事例の共有化を図るなど、組織全体の生産性向上のための仕組み作りを行うことができる</p>	
		組織と人のマネジメント C015L33							10	<p>作業班員のコミュニケーション増大や職務意欲向上に向けて、適切に対策を講じている</p> <p>組織内のメンバーに対し、方針や目標達成に向けた明確なビジョンと道筋を示すことができる</p> <p>部下の専門性、経験、性格などを勘案し、その役割分担と人材配置の最適化を図ることができる</p> <p>定期的にミーティングを行いメンバーに発言の機会を与えるなど、組織内の議論の活性化やコミュニケーションの増大に向けた取組を行うことができる</p>
									11	<p>部下や後輩の職務能力向上に向けて、適切に指導・助言をしている</p> <p>部下の仕事振りを常時把握し、安全衛生管理の観点から時宜を得た助言や指導を行うことができる</p> <p>ルールに則って公正な人事考課を行うことができる</p> <p>叱ったほうが伸びる部下、褒めた方が伸びる部下など、部下の個性を把握した上で状況に即した指導・助言を行うことができる</p> <p>部下の能力や適正を把握し、各人のキャリア・プランに沿った能力開発策を助言できる</p> <p>マナー違反や遅刻・欠席など、部下が規則違反を行った場合には、曖昧にすることなくその都度注意できる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル3（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
損益マネジ メント C017L33							12	<p>組織の目標や実績等を踏まえて、適切に予算案を策定している</p> <p>自社の中長期的な目標及び事業構造、実績の推移、予算策定プロセス、担当部署に期待されている役割等を正しく把握できる</p> <p>予算に関する上位目標を踏まえ、組織メンバーとともに、担当部署の業務遂行において目標とする指標とその目標値を設定できる</p> <p>組織内の業務内容や作業スケジュールをきめ細かく検討し、適正な予算案の策定を行うことができる</p>
							13	<p>進捗状況に応じて原因の解明・対策を講じるなど、適切に進捗管理をしている</p> <p>業務の進捗状況を把握し、これに対応した経費の支出が目的にかなったものであるかどうかを把握できる</p> <p>月次決算等により予算と実績の差が判明した場合には、その原因を解明し、原価維持や支出削減等の対策を講じることができる</p> <p>売上に関しては、他の部門とも協議をしながら、利益を最大化するための取り組みを検討できる</p>
							14	<p>組織目標の成果について、費用対効果など客観的指標により評価・検証している</p> <p>当期の経費支出状況を検討し、無駄な支出や非効率な支出がないか分析して次期に向けた改善策を講じることができる</p> <p>数値化できる部分については、組織目標の成果を費用対効果の面から可能な限り客観的に評価できる</p> <p>企画・承認を得た対応策は即実行に移し、実施によって向上したかどうか検証できる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル4（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準							
	A	B	C	A	B	C									
林業の社会的責任責任と関係者との協働 C004L44							01	林業従事者としての倫理・姿勢を持っている							
								職業人としてのプロ意識、社会的責任感、職業倫理を有している							
								業務に係わる関係法令や就業規制を熟知するとともに、仕事をするにあたって問題となりやすい事例への対処方法を指導できる							
								自社の事業、ステークホルダー（利害関係者）の重要性を部下に理解させることができる							
								部下が企業の理念・方針に沿った行動や態度をとっているか管理できる							
								02	地域社会への貢献と配慮を踏まえて、自組織の行動方針等を策定している						
									林業が自然環境、国民生活、地域雇用等に及ぼす影響を理解し、自組織の社会的責務が果たされるよう、自組織の行動方針を定めることができる						
									隣接する地域社会との調和の必要性を理解し、自組織としての行動方針を決定できる						
								03	事業主や上司等と協働するとともに、部門間の連絡調整や協力体制を構築している						
自社の組織構造、所掌範囲・業務分担を理解し、部門最適ではなく、組織内最適の立場から部門間の連絡調整を図ることができる															
根回しや事前調整により、組織内外における協力体制の構築を推進できる															
事業における問題・課題や顧客クレームに関する説明責任を果たすことができる															
無災害の推進 C008L44							04	安全衛生や防災に関する対策を策定し、職場内で周知徹底するよう部下を指導している							
								職場における事故・災害をあらかじめ防ぐことの重要性を理解し、事業体・組合の労働災害対策に従った活動ができる							
								安全衛生に関わる事業体・組合の潜在的危険要因の撲滅に向けた対応策を策定し、その周知徹底を部下に指示できる							
							05	緊急連絡体制の整備や、部下への安全教育を実施している							
								万が一事故が起きた場合は、関係機関への連絡等初期対応を迅速に行うことができる							
								労働安全衛生法・消防法その他の安全衛生法規に基づき、安全教育を推進できる							
							06	安全衛生活動を定期的に評価し、必要な対策や部下の指導・管理をしている							
								安全な作業条件が確保されるよう、安全確認（統制）を行い、事後では評価を適切に実施できる							
								防災訓練を行って、教育の効果や定着度を測定できる							
															安全衛生に関して定期的に評価を行い、現場の声を聴きながら適切な指導・管理ができる

■能力評価の基準一覧表 レベル4（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
チームワークとコミュニケーション C011L34							07	組織内でのチームワークやコミュニケーションを向上させるため、リーダーシップを発揮している
								チームの目標や業務の効率化のために、メンバーを統率し、必要な支援や指示を行うことができる
								協力的で活力ある職場環境づくりのために、メンバーの気持にも気を配り、動機づけを適切に行って、作業班内に仕事に前向きな姿勢を作り出し、高い生産性や良い品質を実現できる
								会議の場では部下の考えや提案を積極的に引き出し、業務の改善につなげることができる
								作業班の人員構成を見て、上司に後輩の面倒を見させるように指示の出しができる
								他部門との協力関係の調整を適切に行うことができる
業務効率化の推進 C014L34							08	業務の効率化に向けて、問題点の分析・検討結果に応じた必要な対策を講じている
								全体最適の視点をもって、組織内の業務全体について問題点や改善の余地を分析できる
								仕事の進め方のみならず、組織風土や暗黙のルールなど幅広い範囲で変革の必要性がないか検討・分析できる
								他組織の関係者の意見も取り入れながら、多面的に業務改善や効率化のための分析を進めることができる
								全体業務の効率化やコストダウンの観点から、アウトソースの要否など改善に向けた業務分析を行い、実行できる
								同業他社の業務の進め方がある程度把握し、常に指標（ベンチマーク）とすることで効率化策を策定できる
								業務効率化に向けた組織横断的な取組みを推進するなどリーダーシップを発揮できる
								不要な業務や有効性を失った仕組み・手続等について改廃を決断し、実行できる
過去の成功事例・失敗事例の共有化を図るなど、組織全体の生産性向上のための仕組み作りを行うことができる								
組織と人のマネジメント C016L44							09	組織の活性化に向けて、リーダーシップを発揮するとともに、部門毎に必要な人員を適材適所で配置している
								部門全体に対し、将来像に関する明確なビジョンとその実現に至る道筋を示すことができる
								習慣や前例にとらわれることなく、適材適所の観点から戦略的に人員の選定や人材配置を行うことができる
								目標達成のための人材要件を明確化し、組織の要員計画を作成できる
								部門全体を統括する立場として、部下の個性を把握し、自ら進んで部下とコミュニケーションを図りながら組織の指揮を向上させるとともに、開放的で闊達な組織文化を育むことができる
C016L44							10	自ら規範を示し、部下の育成に当たっている
								自分を超越する将来のリーダーを計画的に育成できる
								部下の能力を見極めた上で、適当な場合には情報や経営資源を提供したうえで大幅な権限委譲を行うなど、部下のモチベーションを高めるための工夫を行うことができる
								自ら継続学習を行い、模範を示すことで、部下の学習・成長意欲を喚起できる

■能力評価の基準一覧表 レベル4（共通）

仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
	A	B	C	A	B	C		
損益マネジ メント C018L44							11	<p>組織の目標や実績等を踏まえて、必要な予算額を決定している</p> <p>自社の中長期的な目標及び事業構造、実績の推移、予算策定プロセス等を勘案しながら、担当部門における予算の総額及び策定方針を決断し、部門内への浸透を図ることができる</p> <p>部内各組織の業務内容を正確に把握し、資金配分の優先順位を部門戦略と関連付けながら慎重に検討し、意志決定ができる</p> <p>組織内トップマネジメント、組織内・取引先等利害関係者が複雑に入り組んだ関係者との交渉をまとめ上げ、予算等部門戦略と関連づけながら慎重に検討し、意志決定ができる</p>
							12	<p>進捗状況を常に把握し、必要な対策を速やかに講じている</p> <p>部門内で同時並行的に進められている複数の業務やプロジェクトの全体的な経費支出動向を常時把握し、問題が発生する前に先手を打って対策を指示できる</p> <p>中長期的なコスト低減を常に念頭におきながら、仕事の進め方そのものの見直しを行うことができる</p> <p>売上と原価のバランスを常に考慮し、目標とする利益を計上するように日々の業務をマネジメントできる</p>
							13	<p>組織目標の成果について、費用対効果など客観的指標により部門毎に評価・検証し、対応方針を決定している</p> <p>成果を確認しその原因を分析するため、必要なデータを収集・分析できる</p> <p>自部門の成果が会社利益全体にどれだけの貢献を行ったかを検証し、中長期的に取り組む課題については次期に向けた対応策を講じることができる</p> <p>対応策として企画した内容は即実行に移すようマネージャーに指示をし、実施によって指標が向上したかどうかを確かめることができる</p> <p>組織目標の達成度を理解している</p> <p>売上高、コスト削減目標など部門内各部署の実績を目標の達成度に応じて正確に把握できる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	安全衛生管理	安全衛生管理（補助） S026L11							01	翌日の作業内容や作業箇所、天候等を把握し、必要な作業衣・保護具を準備し正しく着用している 肌を露出せず、袖締め、裾締めのよい作業衣を着用できる あごひもをしっかり締めるなどヘルメットを正しく着用できる 足に合って、滑りにくい丈夫な履き物を着用できる 防除作業などにおける保護すべき箇所（皮膚、目、呼吸器等）を知っている 防除作業などにおける保護すべき箇所（皮膚、目、呼吸器等）に応じた保護具（防除衣・ゴム手袋、保護メガネ、防毒マスク等）の着用を徹底できる チェーンソー作業における保護すべき箇所（脚部、目、耳、手等）を知っている チェーンソー作業における保護すべき箇所（脚部、目、耳、手等）に応じた保護具（防護衣・すね当て、バイザー、イヤーマフ、防振手袋等）の着用を徹底できる 作業内容に応じて防蜂網を着用できる
									02	注意標識を掲げ、作業時の合図方法・連絡方法をチーム内で確認し合ってから作業を開始している 注意標識を掲げることができる 呼び子の携行を徹底できる 作業時の合図方法を知っている 携帯電話が使えない場所での連絡方法を知っている 位置が離れても相互の状況を確認できる方法を知っている
									03	作業着手前に、チーム内で作業種に応じて指差し呼称を復唱している 指差し呼称の基本形を知っている 指差し呼称が正しくできる
									04	作業時に支障がないよう、ワイヤーロープ等の点検・メンテナンスを定期的に行っている 廃棄・更新時期を判断できる 適切な保管方法を知っている ワイヤーロープの使用制限事項を知っている ロープの繊維が破断していないか点検できる ワイヤーロープ等資材の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる
									05	作業時に支障がないよう、刈払機、チェーンソーの点検・メンテナンスを定期的に行っている 刈払機・チェーンソーの種類、構造及び取扱方法を知っている 刈払機・チェーンソーの点検及び整備方法について知っている 刈払機について、外部から見える異常を確認でき、外部の清掃を十分に行うことができる チェーン、ドライブギアのチェック、ガイドバーの溝清掃ができる ドライブsprocketの交換、エアクリーナーの清掃ができる 点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる 刈払機やチェーンソーの故障箇所を特定できる 刈払機・チェーンソーの分解・組立ができる 刈払機やチェーンソーの簡単な部品交換ができる 刈刃やチェーンソーの構造やそれぞれの部分の機能を知っている 刈払機やチェーンソーの目立てに必要な装置、器具を知っている
		資材・設備管理	維持管理（機具・道具類） S029L11							

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	資材・設備管理	維持管理 (機具・道具類) S029L11								刈刃やチェーンソーを種類別に切れる目立てができる
										目立て角度、刃表の調整、デブスゲージの調整ができる
										振動防止の観点から、刈刃やチェーンソーのバランスを崩さず目立てができる
										トラブルの対処方法を知っている
									06	作業時に支障がないよう、その他の資材、道具の点検・メンテナンスを定期的に行っている
										手工具の柄や目釘、刃の点検（特に刃の取り付けがゆるんでいないか）ができる
								手工具の刃研ぎや交換・取付ができる		
								その他の資材等の点検ができる		
								点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる		
								適切な保管方法を知っている		
								廃棄・更新時期を判断できる		
								トラブルの対処方法を知っている		
								その他資材、道具の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる		
現場技能 (森林調査)	森林調査	維持管理 (機械類) S029L11							07	作業時に支障がないよう、高性能林業機械の点検・メンテナンスを定期的に行っている
										各部の構造を知っている
										運転時間を知っている
									注油個所を知っている	
									作業開始前に点検すべき事項を知っている	
									点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる	
								トラブルの対処方法を知っている		
								軽微な修理ができる		
								高性能林業機械の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる		
								08	作業時に支障がないよう、人員輸送車やトラックの点検・メンテナンスを定期的に行っている	
								トラブルの対処方法を知っている		
								作業開始前に点検すべき事項を知っている		
								点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる		
								車両の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる		
		森林調査 (補助) S033L11							09	翌日の森林調査に必要な道具、野帳等を準備している
									実施する調査の目的や調査項目が理解できる	
									実施する調査に必要な道具を準備できる	
									調査個所の森林情報（森林簿、施業履歴等）を入手できる	
									野帳とデータのまとめ方を知っている	
									調査票の記入の仕方を知っている	
								10	作業班長の指示に従い、調査プロット内を効率的かつ正確に調査し、調査結果をまとめている	
									調査地に到達できる	
									調査道具の使い方を知っている	
									事業林分の林況（地形、方位等）を把握できる	
									樹冠疎密度を調べることができる	
									効率的に樹種、直径、樹高を測ることができる	
									調査結果をパソコン等に入力できる	

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (森林調査)	森林調査	測量 S035L11							11	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ正確に測量し、測量結果をまとめている</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパス測量で使用する機材を知っている コンパス測量の手法、進め方を知っている 斜距離から水平距離を算出できる 測量データを野帳に記入できる 製図、面積計算ができる 事業林分（地番毎）の面積を算定できる 距離測量の器具を扱うことができる 距離測量の方法を知っている G P S機器の仕組み、取扱方法を知っている 森林内でのG P S測量の方法を知っている 森林内でG P Sによるプロットができる G P Sによるプロット結果をG I Sで活用できる
		人員・車両・ 機械の配置 (森林整備 現場到達) S036L11							12	<p>翌日の作業内容や作業箇所、天候等を把握し、使用する小型機械等の適切な選択をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業内容や刈払・伐倒対象物に合った手工具（クワ、カマ、ナタ、ノコ等）や刈払機、チェーンソーシステムを選択できる 種類別に手工具や刈刃、チェーンソーの特徴を理解し、作業内容や刈払・伐倒対象物によって手工具や刈刃、チェーンソー・ガイドバーを選択できる 袖締まり、裾締まりのよい服装（防護服）や滑りにくく丈夫な履き物を着用できる 保護帽（防蜂網）、耳栓（イヤーマフ）、防塵眼鏡、防振（防蜂）手袋、チェーンソー防護衣の目的を理解し、正しく着用できる 呼子、蜂刺され対策用品（自己注射器、蜂用殺虫剤、毒吸引器等）、熱中症対策用品（水分、飴等）等携行に必要な道具を知っている 刈払機の肩バンド、腰バンド等の適切な装着ができる 吊り金具、バンドの損傷の有無を確認し、刈払機の吊り金具への適切な装着ができる 緊急離脱装置と飛散防護カバーの点検ができる
									13	<p>翌日の作業箇所、人数等を把握し、適切な輸送車両を選択し、安全に輸送している</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林整備現場毎の人員輸送計画を作成できる 森林整備現場毎の人員輸送の車両を手配できる 森林整備現場毎の人員輸送ができる 森林整備現場毎に必要な資材、機械を段取りできる 森林整備現場毎に必要な資材や機械を運搬できる
現場技能 (森林整備)	造林	地拵え・植 付け(補助) S037L11							14	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に地拵えをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 地拵えの目的、必要期間、適期を知っている 地拵え方法（全刈り地拵え、筋刈り地拵え、坪刈り地拵え等）を知っている 地拵えの作業中に潜む危険要因を知っている 指示された地拵え方法を安全に実施できる 地拵えに伴う末木枝条を効率的に整理できる

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (森林整備)	造林	地拵え・植 付け(補助)							15	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を 勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に植付けをして いる</p> <p>植栽の目的、必要期間、適期を知っている</p> <p>植栽配置（方形植え、矩形植え、三角植え等）や植栽方法を知っ ている</p> <p>植栽の作業中に潜む危険要因を知っている</p> <p>さまざまな苗木タイプの取扱い方法を知っている</p> <p>搬入された苗木を良好な状態で保管、取り扱うことができる</p> <p>指示された植栽配置、植栽方法を安全に実施できる</p>
		S037L11								
	育林 (伐り捨て 間伐含む)	下刈り・除 伐(補助)							16	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を 勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に下刈りをして いる</p> <p>エンジンの安全な始動・停止ができる</p> <p>作業を行わない時はエンジン停止を確認できる</p> <p>足運び等の基本動作を守り、バランスの取れた姿勢を保持でき る</p> <p>作業中は5m以内の立入禁止を守り、立ち入る場合は、合図し、 エンジンが停止してから接近できる</p> <p>熱中症のおそれがある場合は、速やかに作業を中止することが できる</p> <p>キックバックの起こりやすい刈刃部分を知っている</p> <p>適正な刈り幅（大振りをしない）で刈払いができる</p> <p>斜面の下方に進まないで刈り払いができる</p> <p>急斜面では鎌等の手工具で刈払ができる</p> <p>下刈りの目的、必要期間、適期を知っている</p> <p>下刈り方法（坪刈り、筋刈り、全刈り等）を知っている</p> <p>下刈りの作業中に潜む危険要因を知っている</p> <p>指示された下刈り方法を安全に実施できる</p> <p>往復刈り・上下作業・近接作業（15m以内）の禁止や作業の手 順（右から左への反復等）を意識し、足元の安全を確保しなが ら刈り進めることができる</p> <p>腰より低い刈刃位置で下刈りができる</p> <p>見えないところを刈るときの危険性について知っている</p> <p>刈刃に草等が絡まったとき、エンジンを停止して取り除く等、 安全な処理ができる</p> <p>休息時の刈払機の安全な置き方を知っている</p>
		S039L11								
								17	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を 勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）につる切り、除 伐をしている</p> <p>つる切りの目的、必要期間、適期を知っている</p> <p>つる切りの作業中に潜む危険要因を知っている</p> <p>指示されたつる切りの方法を安全に実施できる</p> <p>現地の状況に応じて対象木に傷をつけずに、つる切りができる</p> <p>除伐の目的、必要期間、適期を知っている</p> <p>除伐の作業中に潜む危険要因を知っている</p> <p>指示された除伐方法を安全に実施できる</p> <p>植栽樹種以外の侵入樹種を中心に除伐できる</p> <p>除伐木の整理ができる</p> <p>刈払機で灌木を切断する場合は、8 cm程度以下であることを 知っている</p>	

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
現場技能 (森林整備)	育林 (伐り捨て間伐を含む)	下刈り・除伐(補助) S039L11								灌木等を切断する場合は、樹高の1.5倍の区域内に、ほかの作業者を立ち入らせないことができる 反発の恐れに対し、適正な処理を行う方法を知っている	
		雪起こし L041L11							18	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に雪起こしをしている 雪起こしの目的、必要期間、適期を知っている 除伐の作業中に潜む危険要因を知っている 指示された雪起こしの方法を安全に実施できる 適切な方法で効率的に雪起こしができる	
		枝打ち(補助) S042L11							19	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に枝打ちをしている 枝打ちの目的、必要期間、適期を知っている 枝の切断位置と切断の方法を知っている 枝打ちの作業中に潜む危険要因を知っている 正確かつ安全に枝打ちができる	
		伐り捨て間伐(補助) S044L11							20	安全に伐り捨て間伐をする準備をしている チェーンソーを正しい姿勢で保持することができる チェーンソーのキックバック現象の怖さを知っている 作業の要所要所で、確認すべき対象を確認し、指差呼称をしてから作業を開始することができる 選木された立木の状態を確認し、伐倒方向を判断することができる 隣接木とのつる絡み、枝絡み状態等を事前に確認することができる 伐倒木の重心等を見極め、適正な伐倒方向を決めることができる	
									21	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に伐り捨て間伐をしている 支障木等は事前に除去することができる 樹高の1.5倍の範囲内（立入禁止区域）に他の作業者がいないか事前に確認することができる 受け口を切る前に退避場所を選定し、退避路も確保することができる 受け口を切る前に予告合図を必ずしなければならないことを知っている 受け口の深さは伐根直径の1/4（1/3）以上であることを知っている 受け口の下切りは水平に切り込むことができる 受け口の斜め切りは30～45度の角度とすることができる 受け口の下切りと斜め切りの終わりの部分は一致させることができる 追い口を切る前（またはくさびを打つ前）に必ず本合図を行わなければならないことを知っている 本合図のとき、周囲の作業者の退避を確認することができる 追い口は、受け口の高さの2/3の位置から水平に切り込むことができる 追い口の位置が低すぎず、高すぎず適正な位置にすることができる 追い口を切りすぎず、つるの幅が伐根直径の1/10程度確保しなければならないことを知っている	

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
現場技能 (森林整備)		伐り捨て間伐(補助)								くさびは常に2本以上使用し、決めた伐倒方向に確実に伐倒することができる	
		S044L11								伐倒木が根株から離れはじめたら、確実に退避することができる	
										伐倒が終わったら、終了合図を必ず行わなければならないことを知っている	
現場技能 (素材生産)	人員・車両・機械の配置 (素材生産現場到達)	S049L11							22	翌日の作業内容や作業箇所、天候等を把握し、使用する小型機械等の適切な選択をしている	
										作業内容や伐倒対象物に合った手工具（オノ、ツル、トビ、ノコ等）やチェーンソーシステムを選択できる	
										種類別に手工具やチェーンソーの特徴を理解し、作業内容や伐倒対象物によって手工具やチェーンソー・ガイドバーを選択できる	
										袖締め、裾締めのよい服装（防護服）や滑りにくく丈夫な履き物を着用できる	
										保護帽（防蜂網）、耳栓（イヤーマフ）、防塵眼鏡、防振（防蜂）手袋、チェーンソー防護衣の目的を理解し、正しく着用できる	
										呼子、ロープ、蜂刺され対策用品（自己注射器、蜂用殺虫剤、毒吸引器等）、熱中症対策用品（水分、飴等）等携行に必要な道具を知っている	
	人員・車両・機械の配置	S049L11								23	翌日の作業箇所、人数等を把握し、適切な輸送車両を選択し、安全に輸送している
											伐出現場ごとの人員輸送計画を作成できる
											伐出現場ごとの人員輸送の車両を手配できる
											伐出現場ごとの人員輸送ができる
											伐出現場ごとに必要な資材、機械を段取りできる
											伐出現場ごとに必要な資材や機械を運搬できる
チェーンソー伐倒(補助)	S050L11								24	安全に伐倒をする準備をしている	
										チェーンソーを正しい姿勢で保持することができる	
										チェーンソーのキックバック現象の怖さを知っている	
										作業の要所要所で、確認すべき対象を確認し、指差呼称をしてから作業を開始することができる	
										伐倒木の状態を確認し、伐倒方向を判断することができる	
										隣接木とのつる絡み、枝絡み状態等を事前に確認することができる	
チェーンソー伐倒(補助)	S050L11								25	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に伐倒をしている	
										支障木等は事前に除去することができる	
										樹高の1.5倍の範囲内（立入禁止区域）に他の作業者がいないか事前に確認することができる	
										受け口を切る前に退避場所を選定し、退避路も確保することができる	
										受け口を切る前に予告合図を必ずしなければならないことを知っている	
										受け口の深さは伐根直径の1/4（1/3）以上であることを知っている	
	受け口の下切りは水平に切り込むことができる										
	受け口の斜め切りは30～45度の角度とすることができる										
	受け口の下切りと斜め切りの終わりの部分は一致させることができる										

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	伐倒	チェーンソー 伐倒(補助) S050L11								追い口を切る前（またはくさびを打つ前）に必ず本合図を行わなければならないことを知っている 本合図のとき、周囲の作業者の退避を確認することができる 追い口は、受け口の高さの2/3の位置から水平に切り込むことができる 追い口の位置が低すぎず、高すぎず適正な位置にすることができる 追い口を切りすぎず、つるの幅が伐根直径の1/10程度確保しなければならないことを知っている くさびは常に2本以上使用し、決めた伐倒方向に確実に伐倒することができる 伐倒木が根株から離れはじめたら、確実に退避することができる 伐倒が終わったら、終了合図を必ず行わなければならないことを知っている
			26	安全にチェーンソー造材をする準備をしている	材を安定させながら、枝払い、玉切りの作業ができる					
					必要に応じ、杭止め等の処理を行うことができる 同一斜面上で上下作業を行ってはいけないことを知っている					
			造材	チェーンソー 造材(補助) S052L11	27	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）にチェーンソー造材をしている	枝払いを正確に行うことができる			
							ため枝、ためしばの正しい処理を知っている			
							材の山側で、元口から先端へ向かって作業を行うことができる			
							ガイドバーの根元部分を使って切ることができる			
							正しい手順で玉切りができる			
	テンションがかかっている木などに応じて玉切りができる									
	長級、径級、直材・曲がりなどを市況に合わせて造材することができる									
	斜面上部で行い、足を材、チェーンソーの下に入れずに作業できる 正しい目立てのチェーンソーで、玉切りができる									
	高性能林業 機械による 伐木・造材 (補助) S054L11	28	安全に高性能林業機械操作ができる準備をしている	作業機や機体の旋回の範囲等を分かるようにする等、機械が安全に作業できる場所を確保できる						
機械の能力にあった作業場所を確保できる 林内の走行路は、走行の支障となる伐根、岩石等をあらかじめ除去することができる										
集材	木寄せ S056L11	29	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に人力による木寄せをしている	立木を保護（傷つけない）する処置ができる						
				ツル、トビなどを使って安全に木寄せができる						
				次の作業に適切な量の材を集め、配置することができる						

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	集材	木寄せ S056L11							30	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に機械による木寄せをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 立木を保護（傷つけない）する処置ができる 搬出木の正しい位置にワイヤーをかけることができる 木寄せルート上の障害物を事前に処理できる 安全で効率的な木寄せの順番を選択できる 補助器具（ブロック／滑車）を正しく使うことができる 集材木滑落の危険性を知っている 巻き上げの際の安全、退避場所を確保できる 搬出木の動きがイメージできる
		架線集材 (補助) S057L11							31	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に架線の撤去作業を補助している</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮（材が安定してから行う）して荷はずし作業ができる 撤去作業の手順を知っている 撤去する器具・資材（主にワイヤーロープ等）の取扱方法を知っている 作業主任者の指揮のもと、打ち合わせた方法と手順に従って撤去できる
		車両集材 S059L11								32
									33	<p>作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）にフォワーダ等へ積み込みをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 材を安定した形に積み込むことができる 荷崩れしないように固定できる 材の転落・滑落の恐れのある場所に、他の作業員がいないことを確認できる 材を均等かつ安定した状態で積むことができる フォワーダに表示されている最大積載重量を超えて積載してはいけないことを知っている 積載した材は、荷締め専用器具等を使用し、確実に締めることができる

■能力評価の基準一覧表 レベル1（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	集材	車両集材 S059L11							34	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に運搬をしている 運行経路を知っている 発進するときに周囲に人がいないことを確認できる 走行時に、乗車席以外の箇所に作業者を乗せてはいけないことを知っている 勾配、斜面の状況及び荷重に応じた安全な操作及び速度で走行できる 下り坂ではエンジンプレーキを使用できる 駐停車するときは平坦で安全な場所に止めることができる 運転席を離れるときはエンジンを停止し、逸走防止の措置を行うことができる
									35	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に荷おろしをしている 荷下ろし土場は十分な広さがある適切な場所を選定できる 材への接近の仕方を知っている 下ろした材を安定した形に積むことができる 荷下ろしは、荷の上部から行うことができる 荷下ろし中に、材の転落・滑落の恐れのある箇所に、他の作業員がいないことを確認できる
	土場管理	土場管理 (補助) S060L11							36	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）に極（はい）作業をしている 正しい姿勢で走行させることができる フォワーダ等からの材を降ろすことができる 材を選別し、仕分けすることができる 決められた位置に運ぶことができる 正しくはい（極）積みすることができる 製品種ごとに仕分けしてはい（極）をつくることができる
									37	輸送作業が効率的となるよう、正確に仕分けられている 丸太の種類がわかり、寸法を測ることができる 寸法を適宜記録することができる 委託者（山主）毎の出材を把握できる
	輸送作業	輸送作業 S063L11							38	作業班長の指示に従い、効率的かつ安全（＝作業班長が能力を勘案し決める仕事量をケガなく遂行すること）にトラック等へ積み込み、輸送している 納入する材毎にトラック等に積み込みできる 納品先への順序を考えた効率的な積み込みができる 積み込み後、納品伝票の内容と一致しているか確認できる 納品先への順序を考えた効率的な輸送ルートを設定できる 山土場から納品先まで材の品質を確保しつつ、安全に輸送できる 納品伝票に受領印をもらい、納品後に上司に報告できる

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	森林管理方針	森林管理目標の設定 S002L22							01	<p>森林管理に必要な目標林型、更新方法、保育方法を理解し、林分状況に応じた選択や提案をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標林型の類型について知っている 機能区分に応じて施業対象地の目標林型を設定できる 林分の発達段階をイメージできる 更新方法について知っている 造林未済地のデータ把握ができる 新たな森林づくりの提案ができる 保育方法について知っている 要間伐森林のデータを把握できる 林分状況に応じた間伐方法を選択できる 選木方法の設定ができる
		生物多様性の配慮 S005L22							02	<p>地域内の特筆すべき動植物や配慮すべき地区を把握し、配慮区域の設定をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内の特筆すべき動物種を知っている 地域内の特筆すべき植物種を知っている 水辺域、天然林等、環境に配慮すべき地区を知っている 配慮区域の設定ができる
現場管理	作業システム設計	作業システムの選択 S017L22							03	<p>事業箇所に応じた効率的な作業システムに関する資料・情報を収集・整理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業システムの設計に必要な情報を知っている 過去の施業履歴を入手できる 事業箇所の森林簿を入手できる 事業箇所の森林計画図を入手できる 事業箇所の空中写真を入手できる 林況調査の結果をデータ化できる 事業箇所の地質・土壌条件を知っている 保有機械やリース・レンタル可能な機械の状況を把握し、利用可能な機械を知っている 投入可能な労働力を把握できる 作業種の調査をし、安全で効率的なシステム導入を知っている 既存の作業システムを知っている 新たな作業システムの情報を得ることができる
									04	<p>事業箇所に応じた集材方法や機械を選択している。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの集材方式の特徴を知っている 集材方式ごとに必要な機械を知っている 地形、保有機械、人員を踏まえ効率的な集材方法を決定できる それぞれの集材木形態の特徴を知っている 集材木形態ごとに必要な機械を知っている 保有機械、人員を踏まえ集材木形態を決定できる

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準		
			A	B	C	A	B	C				
現場管理	現場作業管理	コスト管理 S018L22							05	<p>事業箇所や作業システムに応じたコストや採算性の算出方法を理解している。</p> <p>それぞれの作業システムにおいて、班毎の年間ベースでのコストが算出できる</p> <p>作業地ごとの作業工程別のコスト計算ができる</p> <p>事業単価の見積りができる</p> <p>それぞれの作業システムにおいて、班毎の適正な年間必要事業計画（必要事業量）が策定できる</p>		
			工程管理 S021L22							06	<p>事業箇所に応じた作業配置や機械の組み合わせを行い効率的な作業工程表を作成している。</p> <p>使用機械が手待ちにならないように機械の組み合わせを把握して管理する施業工程表が作成できる</p> <p>全作業種を調整し工程表を作成できる</p> <p>団地内施業内容を十分に知っている</p> <p>スタッフへの業務割り振り、作業手順を指示できる</p> <p>スタッフの健康状態の確認ができる</p> <p>人員輸送等機械設備の整備状況を把握・確認できる</p> <p>高性能林業機械等の点検・整備状況を把握・確認できる</p> <p>人、物等コストを熟知し現場にあった準備をする事ができる</p>	
										07	<p>当日の作業内容や施業上の問題点等を適切に整理し、作業日報を作成している。</p> <p>作業日報に必要な記録をすることができる</p> <p>作業日報を作成することができる</p> <p>予定に対する実績等を分析し、作業工程の問題点や改善箇所を洗い出すことができる</p> <p>各作業種の詳細を知った上で、各々調整することができる</p> <p>施業履歴内容を理解し、分類することができる</p> <p>森林GIS等を用いて施業履歴の登録や管理ができる</p>	
				品質管理	仕様書確認 S023L22							08
	品質管理 S024L22										09	<p>仕様書等に基づいて適切に施工管理をしている。</p> <p>作業の反復により標準的な工程で均一に仕上げる事ができる</p> <p>施工管理に基づく仕上げができる</p> <p>班全体での仕上がりが均一でない個所が分かり、仕上がりを修正できる</p> <p>事業開始前と同一アングルで事業実施後の写真撮影ができる</p> <p>仕様書どおり作業が完成していることを確認できる</p> <p>仕様書に基づく施工管理ができる</p> <p>作業後の整理・整頓がなされていることを確認できる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
現場管理	品質管理	品質管理 S024L22								作業後に仕上がり仕様書を照らして確認することができる	
										自社の施工マニュアル及び仕様書とのチェックをすることができる	
											10 災害発生時には、対応手順等に基づいて適切に対処している。
	安全衛生管理	安全衛生管理 S027L22									緊急時の連絡体制、対応手順を知っている
											被災者救助活動の指揮ができる
											緊急時の関係各署（医療機関を含む）への連絡や対応を指揮できる
											負傷者を救護できる
											救急蘇生法を知っている
											災害原因調査のための現場保存ができる
											11 天候や作業環境の変化に応じた安全な措置を講じている。
											悪天候による危険を判断できる
											作業中止の判断ができる
落雷の回避方法を知っている											
積雪の状態、気温の変化に留意し、雪崩に注意できる											
現場の危険因子を発見できる											
危険予知ミーティングを実施できる											
										12 薬剤や油脂類等に応じた適切な取扱いや保管・処分をしている。	
										使用する薬剤や油脂類の環境特性を知っている	
										使用する薬剤や油脂類に定められた使用方法を知っている	
										使用する薬剤や油脂類の廃棄方法を知っている	
										有害性の大きい化学物質の使用抑制・代替の検討ができる	
										火気取扱いの注意点を知っている	
										火の後始末ができる	
燃料を正しく保管できる											
										13 振動機械を使用する場合は、防振手袋、耳栓等を必ず着用している。	
										振動障害の原因、症状を知っている	
										振動障害の予防措置を講じることができる	
										刈払機取扱作業安全衛生教育について知っている	
伐木等の業務の安全衛生特別教育について知っている											
資材・設備管理	調達管理 S030L22									14 作業時に支障がないよう、必要な資材・設備等を調達している。	
										発注資材の搬入日、置き場、保管方法等について知っている	
										購入予定の資材・設備の数量をリストアップできる	
										調達方法の検討ができる	
										発注価格の検討と設定ができる	
										代品調達の検討ができる	
										購買品を納期管理できる	
										購買に関わる関連法令（製造物責任等）の基礎的な内容を知っている	
										発注資材の納品検査を行い、形状・寸法・数量の確認を行うことができる	
										受入に関する検収処理（伝票処理等事務手続き）ができる	

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	資材・設備管理	維持管理 (機械類) S030L22							15	作業時に支障がないよう、高性能林業機械の点検・メンテナンスを定期的に行っている。 各部の構造を知っている 運転時間を知っている 注油個所を知っている 作業開始前に点検すべき事項を知っている 点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる トラブルの対処方法を知っている 軽微な修理ができる 高性能林業機械の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる
									16	作業時に支障がないよう、人員輸送車やトラックの点検・メンテナンスを定期的に行っている。 トラブルの対処方法を知っている 作業開始前に点検すべき事項を知っている 点検結果に基づき、適切な処置を講ずることができる 車両の使用後は記録簿等に点検結果を記載できる
現場技能 (森林調査)	森林調査	森林調査 S034L22							17	調査プロットを設定し、適切にデータ分析をしている。 標準地（サンプル個所）を設定することができる 地図の見方を知っている 間伐においては残存木を設定できる 集計結果をもとに、標準地の立木材積、林分密度を算出できる 面積測量・プロット調査の結果から、事業林分（地番毎）の立木本数、立木材積を推定できる プロット調査の結果から材積間伐率を算出できる プロット調査の結果から本数間伐率を算出できる 事業林分（地番毎）の収穫材積を見積もることができる
現場技能 (森林整備)	造林	地拵え・植付け S038L22							18	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に地拵えをしている。 樹種、植林地の植生、地形等の立地条件に応じて地拵え方法、時期などを選択することができる 選択した地拵えを実行するために、その準備、手配を進めることができる
									19	仕様書等に基づき、効率的かつ効果的なネット張り等をしている。 地形に合わせたルートを選択できる 物資の配置位置を的確に知っている 高さを最大限に活かした設置ができる 獣の嫌がるコースを設置できる、及び工夫できる 谷の横断や水流れでの工夫ができる 正しい張力でネットを張ることができる 控えロープ等での補強箇所が分かり、補強ができる 適所に入出口を作成できる 地上との隙間を作らず設置できる 獣の特性や性質を知っている

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (森林整備)	造林	地拵え・植 付け S038L22							20	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に植付けをしている。 人工林樹種の特性、スギなどの品種特性を知っている 経営目標、地利等に応じて適切な樹種・品種を選択できる 苗木を確保し、植栽する苗木の状況の確認、適切な取扱いができる ポット苗、コンテナ苗等の適切な取扱いができる 経営目標、地利等に応じて適切な植栽方法・時期などを選択できる 現地の状況に応じて適切な植栽配置・密度の選択ができる 植栽状況を確認し、不備がある場合には適切な対応をとることができる
			育林 (切り捨て間伐含む)	下刈り・除 伐 S040L22						
									22	仕様書等に基づき、安全かつ効率的につる切り・除伐をしている。 適切な時期に除伐の指示を出すことができ、針葉樹人工林では必要に応じて有用な広葉樹類を残すような判断もできる
	枝打ち S043L22								23	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に枝打ちをしている。 生産目標、時期、従事者の技量等を考慮して適切な枝打ち方法(枝打ち高、使用道具、時期等)や対象木の選定ができる
	伐り捨て間 伐 S045L22								24	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に切り捨て間伐をしている。 林分の現況、生産目標等に応じて間伐率を決定することができる 間伐対象の選木ができる 間伐方法を選択をすることができる 効率的な間伐道具を選択することができる かかり木処理に必要な補助器具の種類や使い方を知っている かかり木処理における禁止事項を知っている かかり木処理の作業方法（回転による方法、元口移動による方法、けん引具等による方法等）を複数知っている 適切な器具、作業方法を選択し、かかり木処理を安全に実行することができる
		森林保護対 策 S046L22							25	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に被害木の処理・保護をしている。 風倒害の発生要因について知っている 風倒被害を避けるための施業を提案・指示できる 風倒木を処理できる 雪害の発生要因について知っている 雪害が懸念される樹冠長率、形状比を知っている 雪害被害を避けるための施業を指示・実行できる 雪害木を処理できる 干害、水害、凍害、潮害、噴火災の発生要因について知っている 干害、水害、凍害、潮害、噴火災木を処理できる 獣害発生要因について知っている

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (森林整備)	森林保護	森林保護対策 S046L22								獣害防止の個別対策の知識・技術について知っている 獣害防止の個別対策の施業を指示・実行できる 病虫害発生要因について知っている 病虫害防止の個別対策を知っている 病虫害防止の個別対策の施業を指示・実行できる 竹林の侵入防止に関することを知っている 竹林の侵入防止に関する施業を提案・指示・実行できる
		天然林改良施業 S047L22							26	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に天然林改良施業をしている。 整理伐、択伐等について知っている 整理伐、択伐等を行うことができる 天然林の複層林施業について知っている 複層林施業を行うことができる 育成天然林施業について知っている 萌芽更新、天然下種更新等育成天然林施業を行うことができる
		修景施業 S048L22							27	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に修景施業をしている。 修景施業について知っている 修景施業の諸作業を行うことができる 修景施設整備について知っている 修景施設整備を行うことができる
現場技能 (素材生産)	伐倒	チェーンソー伐倒 S051L22							28	仕様書等に基づき、安全かつ効率的に間伐を実施している。 目視で間伐率を把握することができる 林分の目標林型を知っている 間伐方法の違いを知っている 列状間伐を知っている。また列状間伐のメリット、デメリットも知っている 間伐率に合わせて選木できる 選木の目安となる樹型（優良木、暴れ木）を知っている 残存率、間伐対象木の見分けができる
									29	安全かつ効率的にかかり木の処理を実施している。 かかり木処理の際の禁止作業を知っている かかり木処理のリスクを回避しながら作業できる かかり木処理できない場合の現場を目立つように表示できる 現場の事前調査を行い、かかり木の適切な処理方法、使用機械器具を選定できる かかり木を処理するための適切な機械器具を携行しなければならないことを知っている かかり木処理の前に、退避場所を選び、通路の障害物を取り除くことを知っている 必ず合図し、安全を確認してから、かかり木処理作業を始めることを知っている かかり木が動き始めたら退避場所に速やかに退避することができる 二人以上の組で作業をしなければならないことを知っている 手に負えないと判断したときは、熟練者に依頼することができる

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	伐倒	チェーン ソー伐倒 S051L22							20cm未満の小径木では、木回し、ロープ、フェリングレバー等の道具を使用していることを知っている 20cm以上の中大径木では、チルホール等のけん引具などを用いてかかり木を外すことができる	
			30	安全かつ効率的に転倒木や風倒木の処理を実施している。 風害に遭った木をリスクを回避しながら伐倒する方法を知っている 補助器具を使いながら伐倒することができる 転倒木は通常の伐倒木と異なり、曲がって異常な張力がかかっていることを知っている 曲がっている木を切り離すときの切断の方法を知っている						
								跳ね返りの恐れがある場合、跳ね返りに備えて退避路を確保することができる 転倒木で根株が起きている木の切り離しに当たっては、根株の転動を見極め、それぞれに応じた措置を講じて作業を行うことができる 転倒木の根株周囲の危険区域を知っている 急な斜面の下方に向かって倒れている転倒木は、切り離すと作業者が巻き込まれるので、あらかじめワイヤロープで転落防止を行って切り離すことができる		
	造材	チェーン ソー造材 S053L22							31 樹種等に応じて安全かつ効率的に造材を実施している。 有利な採材について知っている 長級、径級、直材・曲がりなどを市況に合わせて造材することができる 大径木の置かれている状況に応じた玉切りの方法を知っている テンションが掛かっている等注意を要する木の安全な玉切り方法を指示できる 延べ寸を確保し、寸足らずの採材をしないように指導できる 玉切り作業において、正しい目立てが重要なことを知っている	
32			安全かつ効率的に高性能林業機械で伐倒・造材作業をしている。 目視で間伐率を把握することができる 林分の目標林型を知っている 間伐方法の違いを知っている 間伐率に合わせて選木できる 選木の目安となる樹型（優良木、暴れ木、方枝の木）について知っている 残存木、間伐対象木の見分けができる 伐倒する立木及び林地の状態から、あらかじめ倒す方向を見定めることができる 伐倒する立木の周囲にある障害物は、あらかじめ除去することができる 運転席から伐倒する木の高さの2倍を半径とする範囲内に、他の作業者がいないことを確認することができる 斜面では伐木造材機械を傾斜方向の上方に向けることができる 周囲の立木を傷つけずに伐倒作業ができる 材の転落・滑落のおそれのある箇所、他の作業員がいないことを確認することができる 作業機で把持した材を運転席から見て、横に向けて作業を行うことができる							

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	造材	高性能林業 機械による 伐木・造材 S055L22								<p>運転席からアーム・ブームを伸ばした距離の2倍の範囲及び材の送り方向に他の作業員がいないことを確認することができる</p> <p>作業機を低くする姿勢で作業を行うことができる</p> <p>材の落下場所を十分確認してから鋸断操作を行うことができる</p> <p>周囲の安全を確保しながら枝払い・玉切り作業ができる</p> <p>長級、径級などを市況にあわせて造材することができる</p> <p>周囲の立木を傷つけずに枝払い・玉切り作業ができる</p> <p>材が転落又は滑落しない箇所に集積することができる</p> <p>作業機から材を下ろすときに、すでに集積された材が滑落等を起こさないようにすることができる</p> <p>材を回転移動するときに、元口部分が運転席などに接触しないようにすることができる</p> <p>周囲の立木を傷つけずに集積作業ができる</p>
		架線集材 S058L22							33	<p>林業架線作業主任者の指示に基づき、安全かつ効率的に架線を組立・解体している。</p> <p>ワイヤーロープの構造や種類、取扱方法について知っている</p> <p>集材機を適切な位置に運び、固定することができる</p> <p>各種資材器具を点検することができる</p> <p>索張り方式に適した十分な強度を有する立木、支柱、スタンプ等を選定し、設置することができる</p> <p>柱の昇降に安全な用具または器具を使用することができる</p> <p>2 m以上の箇所で作業する場合には、安全帯を使用することができる</p> <p>柱上から器具あるいは工具類を投下してはいけないことを知っている</p> <p>柱上作業中、支柱周辺に他の作業員がいないことを確認することができる</p> <p>先柱の控え索取り付け位置は、ガイドブロックの取り付け位置より上方となっていることを確認できる</p> <p>台付け索の両端のアイの部分にガイドブロックのシャックルを通して確認することができる</p> <p>集材方向を林地傾斜方向にすることを知っている</p> <p>先柱の控え索は2本以上とし、控え索と支柱のなす角度は45度から60度の範囲とすることを知っている</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
現場技能 (素材生産)	集材	架線集材 S058L22								<p>控え索及び作業索を固定するときに立木、根株等の堅固なものに2回以上巻き付け、かつ、クリップ等の緊結具を用いて確実に取り付けることができる</p> <p>作業索の端部を搬器またはフックに取り付けるときに、クリップ止め、アイスプライス等の方法により確実に取り付けることができる</p> <p>集材作業時に材が衝突するおそれのある根株や転石等は、事前に取り除くことができる</p> <p>作業索が交錯しないように、先柱のガイドブロックは間隔を空けていることを確認することができる</p> <p>主索を固定することができる</p> <p>控え索及び滑車を固定することができる</p> <p>いろいろな索張りの方法を知っている</p> <p>索の張力や安全係数を求めることができる</p> <p>索の張力を定期的に確認し、主索の検定を行うことができる</p> <p>台付けロープや根株の状態を点検することができる</p> <p>スリングロープの状態を点検することができる</p>	
			34	安全かつ効率的に荷掛け・荷外し作業をしている。	<p>各種機器を点検できる</p> <p>足場に注意するなど、自らの安全を確保できる</p> <p>どの材から荷掛けするかの順番について知っている</p> <p>重量を目測し、集材機の能力にあった材を荷掛けできる</p> <p>材への接近の仕方を知っている</p> <p>スリングロープをしっかりと荷吊りフックにかけることができる</p> <p>巻き上げの前に、荷が抜ける恐れがないことを確認することができる</p> <p>巻き上げの際には、安全な箇所へ退避した後、巻き上げの合図をすることができる</p> <p>荷掛けを行う作業者が機械の操作を遠隔操作装置により行うときは、安全な箇所へ退避して行うことができる</p> <p>搬器の走行中は、安全な箇所へ退避することができる</p> <p>スリングロープ1本の吊荷数は3本以下を知っている</p> <p>ロージングブロックが停止してから荷掛けをすることができる</p> <p>荷外しは、材が安定な状態で接地したことを確認してから行うことができる</p> <p>荷外しを行う作業者がスイングヤードの操作を遠隔操作装置により行うときは、安全な箇所へ退避して行うことができる</p>						
									35	安全かつ効率的に集材作業をしている。	<p>作業開始前の点検ができる</p> <p>安全な方法で作業を進めることができる</p> <p>作業終了後の点検ができる</p> <p>集材機試運転で確認すべきことを知っている</p> <p>集材機運転で急激な発進または制動が危険であることを知っている</p> <p>材が地表障害物に引っかかるなど異常張力がかかったときは、直ちにドラムを停止することができる</p>

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場技能 (素材生産)	集材	架線集材 S058L22								作業索の巻取りは、作業索の乱巻きやからみつき等に注意しつつ、巻きすぎ防止を超えないよう巻き込むことができる 荷掛け・荷外し作業を行っているときは、集材ウインチを停止させることを知っている 運転者と荷掛け者の連絡合図は確実に行うことができる 荷掛け作業が完了した合図を受けてから、巻き上げ又は引き寄せの操作を行うことができる 指差し呼称で合図することができる 同一斜面での上下作業をしてはいけないことを知っている 主索下、荷落下の恐れのある箇所で作業しないことを周知することができる 集材作業中、作業索の内角に、他の作業者がいないことを確認することができる 集材機運転中に席を外すときは必ずエンジンを停止することができる スイングヤードでの集材の際は、材を必要以上に持ち上げず、材の一端を地面につけて集材することができる 荷外しのため機体を旋回させるときは、作業索の状態と機体の周囲の状況を確認してから行うことができる
		土場管理 S061L22							36 安全かつ効率的に土場の設置及び管理をしている。 土場に適当な場所（土砂の崩壊や落石のない平坦な場所）を指摘できる 設置予定箇所の危険要因を予め除去することができる 作業が安全で能率的にできるよう土場を施工できる 効率的に導線を確保し、はい（極）を配置できる はい崩れ防止などの処置をすることができる	
	輸送手配 S062L22							37 材に応じた効率的な輸送手配をしている。 複数の運送業者を知っている 出材計画に基づき輸送の車両・人員を手配できる 材の積み込み・輸送を指示できる はい毎に納品先を把握できる 納期、納入する材について納品先に連絡できる		
現場技能 (路網開設)	森林作業道のルート選定	森林作業道 ルート の選定 S064L22							38 効率的かつ安全な森林作業道のルート選定をしている。 地形図、空中写真等必要資料について知っている 地形図、空中写真等必要資料を収集できる ルート予定地を現地調査できる 延長測量ができる 必要な横断溝、構造物について調査できる 必要な横断溝、構造物について必要数、傾斜角を算出できる 地形区分（匍行土、堆積土、タナ地形等）とその特徴を知っている ヘアピンカーブ適地を地形図にマークすることができる 避けるべき地形を知っている 崩壊地及び崩壊の多いところを地形図にマークすることができる 地すべりが発生しやすい個所を判読できる 現場の土質、使用する機械の能力に応じた勾配とすることができる	

■能力評価の基準一覧表 レベル2（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
現場技能 (路網開設)	森林作業道のルート選定	森林作業道 ルートの選定 S064L22								制限勾配の目安が30%程度であること、制限勾配の延長は30m以下とすること、制限勾配の前後には緩勾配の区間を設けることを知っている	
										制限勾配の前後には小半径の曲線部を設けない事を知っている	
											幅員は車両の接地幅の少なくとも1.2倍以上とし、曲線部は必要に応じて拡幅すべきことを知っている
											作業ルートを図面上に示すことができる
										現地調査でルートを修正・確定できる	
	開設・維持管理	森林作業道 開設 S065L22							39	現地の地形・地質に応じた適切な線形を判断している。	
										現地の地形、地質等の条件を知っている	
										現場の条件に応じて、最終線形を判断できる	
										最終線形に応じて路面の高さなどを立木にマークできる	
										伐開幅を抑えた支障木の選定ができる	
支障木の伐採を土工作業にあわせて行うことができる											
森林作業道の開設・維持管理	森林作業道 開設 S065L22							40	安全かつ効率的に簡易で丈夫な森林作業道を開設している。		
									路網開設用パワーショベルを安全に操作できる		
									重機による粗道の開設作業ができる		
									資材等を用いて法面、路面が安定するように施工できる		
									路面の横断勾配を水平とし、波形勾配を利用した分散排水を行うことを基本とすることを知っている		
									路面の縦断勾配、当該区間の延長等を考慮して、適切な間隔で排水施設を設置することができる		
									排水溝を設置する場合は、維持管理を考慮し、原則として開きよとすることを知っている		
									横断排水施設の排水先には、路体の決壊を防止するため、岩や石で水たたきを設置するなどの処理を行うことができる		
									小溪流の横断には暗きよではなく洗い越しを施工することができる		
									洗い越しの上流部・下流部に流速を抑えるための水溜を設けるダム工を設置することができる		
									土構造を基本とすることを知っている		
丸太組工、ふとんかご等の簡易構造物の種類を知っている											
利用の頻度やコスト、耐用年数を考慮して構造物を選定することができる											
選定した構造物を設置できる											
森林作業道 維持管理 S066L22								41	必要な資材を準備し、効率的な森林作業道の維持・補修をしている。		
									補修必要箇所を現地踏査で把握できる		
									補修箇所毎に補修方法を検討できる		
									補修に必要な資材が準備できる		
									路面・路肩の補修ができる		
									補修に必要な資材が準備できる		
									法面の補修ができる		
横断排水施設等に堆積した土砂等を除去し、排水機能を回復することができる											

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	森林管理方針	森林管理の 実施体制 整備 S001L31							01	森林管理に必要な情報を理解し、適切に実施体制を整備している 測量・土地登記に関する基礎を知っている 管理予定の森林の境界保全の優先度を判断できる 地域の森林事情に詳しい人と連絡を取ることができる 地域の測量士、土地家屋調査士等の専門家に相談できる 地域の森林資源構成や年間生長量を知っている 地域の可能伐採量（m ³ /ha）を知っている 森林管理に必要な情報について知っている 森林GISの導入を検討できる 地域の森林組合が実施している業務内容を知っている 地域の種苗業者、造林業者、素材生産業者、木材業者の実態を知っている 関係者で連携して地域の森林管理体制を構築できる
		森林保護 対策計画 S003L33							02	森林の被害状況や原因を理解し、適切に森林保護対策を行っている 気象害について知っている 関係機関と連携をし、地域レベルでの気象害予防対策に参加できる 関係機関と連携をし、地域レベルでの気象害跡地対策に参加できる 獣害について知っている 関係機関と連携をし、地域レベルでの獣害予防対策に参加できる 関係機関と連携をし、地域レベルでの獣害跡地対策に参加できる 病虫害について知っている 関係機関と連携をし、地域レベルでの病虫害予防対策に参加できる 関係機関と連携をし、地域レベルでの病虫害跡地対策に参加できる
		森林認証 S004L33							03	森林認証の仕組みを理解し、適切に森林認証の導入を検討している 森林認証の仕組みについて知っている 地域内で森林認証を導入したところを知っている 森林認証の導入を検討できる
									04	環境モニタリングの実施方法等を理解し、適切に計画・指示している 環境モニタリングについて知っている 定点での環境モニタリング等を計画・指示できる
		施業提案	集約化 S006L33							05

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準	
			A	B	C	A	B	C			
企画・営業	施業提案	集約化 S006L33							06	集約化に必要な情報を理解し、適切に施業計画を作成している 今後5年程度の間には森林施業が必要な林分を抽出し、図面に整理できる 大まかな森林作業道/架線ルートを計画できる 今後5年程度の間には間伐する施業団地を設定できる 団地全体の施業計画（間伐方式、作業道ルート）を作成できる	
									07	集約化に必要な所有者情報を理解し、適切に資料を収集・整理している 集約化に必要な所有者情報を知っている 公図と照合し、該当地番を確認することができる 集約化しようとする林分の登記事項証明書等を入手できる 集約化しようとする林分の森林情報と所有者情報を関連づけることができる	
									08	集約化する森林の情報を理解し、適切に境界を確認している 集約化しようとする林分が地籍調査実施済みかどうかを確認できる 地元の世話人、案内人を手配できる 測量士を手配できる 所有者に現地での立会を依頼できる 境界の確認に必要な資料、機材（GPS等）、資材（杭等）を準備できる 所有者の立会のもと境界の確認ができる 境界杭打ちなど目印を残すことができる 確認した境界等の情報を文書等に整理できる GPS、GISを利用し、森林簿と照合・利用することができる	
									09	関係者との合意形成を図りながら、適切に現地説明会等を行っている 現地説明会・地域懇談会を企画することができる 林業普及指導員等の協力を得ることができる 所有者に案内を出すことができる 団地の目標林型や森林作業道/架線ルートの説明ができる 参加者の了解を取り付けることができる	
									10	目標林型や施工に必要な経費等を理解し、適切に提案書を作成している 所有者ごとに現況調査のデータを整理できる 契約森林ごとに目標林型を設定できる 所有者ごとの作業道開設経費負担割合を設定できる 提案書を作成できる 活用できる補助金制度を知っている 自社における作業種ごとの標準原価を知っている 苗木代や必要な構造物等の資材費を積算できる 事業にかかる適切な間接経費を算定できる 木材市況を把握し、木材販売額を算定できる 見積額（及び返却額）を算定することができる	
				提案・契約 S007L33							

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	施業提案	提案・契約 S007L33							11	所有者の意向を理解し、適切に提案書に基づいて契約している 所有者の意向を把握できる 作成された提案書を確認し、必要に応じて修正できる 提案書の内容を説明できる 信託契約（経営の受委託契約）と管理契約（施業の受委託契約）の違いを知っている 提案した内容で契約することができる
		森林経営 計画作成 S008L33							12	森林経営計画に必要な認定基準等を理解し、適切に森林経営計画を作成している 森林経営計画の認定基準を知っている 森林経営計画書の様式を入手できる 所有者との合意内容や契約内容に基づき、森林経営計画を作成できる 市町村森林整備計画に適合して、森林経営計画を作成できる 森林経営計画の作成にあたって、林業普及指導員等と連携できる 申請手続きを知っている 市町村長等が行う森林経営計画の認定に係る標準処理期間を知っている 施業実施に支障がないよう、適切な時期に申請ができる
		完了報告 S009L33							13	完了報告書への記載事項を理解し、適切に完了報告をしている 完了報告の記載事項を算出できる 完了報告書を作成できる 完了報告書を委託者に郵送できる 完了報告書の内容を詳細に説明することができる
	受注管理	受注管理 S010L33							14	事業発注情報等を理解し、適切に受注条件を交渉している 国、都道府県等からの事業発注情報（入札公告等）の入手先を知っている 入札公告等があった場合に、その内容について不明な点を発注者に質問することができる 受注に当たって不明な点を全て明らかにしておくことができる 受注条件をまとめることができる 発注者から現地踏査の了解を取り、現地確認の日程調整をすることができる 現地踏査をし、係り増しが予想されるポイントが理解できる
									15	標準原価及び木材市況を理解し、適切に見積内容等を説明している 自社における作業種ごとの標準原価を知っている 木材市況を把握できる 見積額を算定できる 技術提案書を作成できる 見積書をもって所有者に納得させることができる
									16	入札要件や自社の営業利益等を理解し、適切に入札参加を判断している 入札参加の是非を判断できる 入札参加資格の有無を確認できる 入札日に応札することができる 入札価格を決定する事ができる 電子入札について知っている

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	受注管理	受注管理 S010L33							17	契約内容等を理解し、適切に契約情報を共有している 契約書を作成できる 契約の内容を詳細にわたり説明できる 内部調整し、契約内容を共有することができる
									18	事業の開始前や終了後に必要な手続きを理解し、適切に届出を行っている 事業開始前に着手届等を提出できる 事業完了後に完了届を提出できる
	外注管理	外注管理 S010L33							19	施工内容や仕様等を理解し、適切に事業を外注している 仕様書を作成できる 外注条件を設定できる 選択すべき発注方法を知っている 予定価格を作成できる 入札案内を出すことができる
									20	入札や契約方法等を理解し、適切に契約相手方を選定している 入札等を実施できる 契約相手方を決定できる 契約書を作成できる
									21	仕様書の内容や施工状況等を理解し、適切に進行管理をしている 仕様書どおりの施工がされているか定期的に監督・指導を行うことができる 現場代理人に対して必要な指示ができる 期間・工程管理を徹底することができる
									22	施工状況や検査方法等を理解し、適切に完了検査をしている 仕様書どおりの施工がされているか検査を行うことができる 仕様書と相違する場合は、手直しさせることができる 検査後の処理を相手方に指示する事ができる
	素材販売	営業・ 販売企画 S013L33							23	マーケティング調査や需要動向等を理解し、適切に情報を把握・分析している マーケティング調査の目的を知っている 大口顧客の業界動向（製材、住宅等）を把握、分析できる 消費者の動向を把握、分析できる 市場価格の動向を把握、分析できる 大口顧客の情報収集、分析ができる
									24	自社の重点課題や作業能力を理解し、適切に営業・販売企画をしている 自社の経営戦略等に合わせた営業面における重点課題を知っている 自社の素材生産能力を把握できる 営業企画書を立案できる 市場に対して商品提案できる
									25	営業に必要な基礎とノウハウを理解し、適切に実行管理体制を整備している 営業担当者として必要な基礎とノウハウを知っている 営業戦略に基づいた営業管理体制を構築できる 実行管理体制が整備できる 営業会議等において営業活動に関する助言と指導ができる 営業活動の進捗状況の確認ができる 実行管理体制の実証ができる

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	素材販売	営業・ 販売企画 S012L33							26	<p>営業内容の分析方法を理解し、適切に営業・販売活動を管理している</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上実績の季節変動分析ができる 売上実績の要因（内的、外的）分析ができる 営業活動費用の計算・分析ができる 営業活動の費用便益分析ができる 営業活動の予算管理ができる 実証に基づいて今後の対応を計画できる
		卸売市場 営業（市場 流通）(B to M) S013L33							27	<p>卸売市場の仕組みや価格動向を理解し、適切に卸売市場等を選択している</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場への登録手続きを知っている せり売りの流れを知っている 相対取引の流れを知っている 木材価格、販売量、売れ行き等の季節変動等マーケティング動向を知っている 複数の卸売市場の価格動向の調査ができる 輸送費用等を考慮した最も適切な卸売市場の選択ができる 集荷規模が把握できる、最も有利な市場選択ができる
									28	<p>自社商品の特徴や市場動向を理解し、適切に営業・商談活動をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場のせり人・仲卸業者等市場関係者の情報の把握ができる 買出入の動向調査と分析ができる 他社や他産地の価格動向を把握できる 自社の林産物の特徴をアピールすることができる 市場関係者と商談交渉ができる
									29	<p>顧客情報や必要な手続き等を理解し、適切に販売代金を回収している</p> <ul style="list-style-type: none"> 卸売市場ごとの代金回収手続きを知っている 円滑な代金回収ができる 期日内回収をすることができる
		大口流通・ 契約販売 (市場外流 通)(B to B) S014L33							30	<p>商談に必要なマナーを理解し、適切に営業・販売活動をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間営業計画の策定ができる 過去の見積実績、顧客情報等から訪問計画を立てることができる 得意先の巡回と売り込みができる 自社の林産物の特徴をアピールすることができる 顧客需要を聞き出し、適切な提案ができる 商談を進めるためのマナーを知っている 商談のための社外文書のマナーを知っている
								31	<p>営業実績等の必要な顧客情報を理解し、適切に新規顧客を開拓している</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規顧客開拓先へ計画的に訪問できる 新規顧客の開拓と拡大のための宣伝広告を配布できる 新規顧客の需要を聞き出すことができる 新規顧客の見込みのランク付けができる 	

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
企画・営業	素材販売	大口流通・ 契約販売 (市場外流 通) (B to B) S014L33							32	価格動向等の必要な情報を理解し、適切に販売価格の見積りを行っている 見積りの立て方を知っている 見積りの諸条件（取引条件等）を知っている 見積りに必要な各種情報を収集できる 季節や時期に応じた見積りを作成できる 競合生産者の動向を分析できる 適切な粗利（マークアップ）が決定できる
									33	顧客情報や必要な手続き等を理解し、適切に販売代金の回収を行っている 代金回収手続きを知っている 円滑な代金回収ができる 与信管理の方法を知っている。期日内回収することができる 不良債権が発生した際の必要な対応ができる 債権回収率の向上のための有効手段を立案できる 顧客別未回収残高（売掛金＋受注手形）を確認し、請求書送付、支払要請ができる
									34	顧客情報や営業実績等を理解し、適切に顧客管理をしている 顧客情報を整理できる 顧客の動向調査をする事ができる 顧客へのアフターサービスができる クレーム・トラブルへの迅速な対応ができる
									35	作業工程や進捗状況を理解し、適切に出材量を管理している 伐区、団地の生産計画を把握できる 伐区、団地毎の出材情報を把握できる 月毎の出材量を把握できる 伐区、団地毎の全出材量の見積りができる 事業所全体の月間出材量の見積りができる 出材計画書を作成することができる 伐区、団地毎の責任者に出材計画を周知することができる 工程管理を徹底することができる
		運送管理 システム (ロジスティック) S016L33							36	輸送の手段や経路等を理解し、適切に材の輸送管理をしている 納入先別の納入情報を把握できる 納入先別の納入計画を作成できる 輸送単価についての見積りができる 納入先別の輸送単価を設定できる トラック等の輸送方法について知っている トラック等の輸送手段を計画できる トラック等の輸送車両を手配・確保できる 地域内の輸送経路について知っている 輸送経路の効率化を検討できる 輸送経路の計画を策定できる

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	作業システムの設計	作業システムの設計 S019L33							37	作業方法や機械の能力を理解し、適切な作業システムを決定している 決定した集材方式、集材木形態に応じた作業工程を決定できる 各工程に必要な機械、人員を計画できる 組み合わせる機械の大きさの整合性について知っている 工程間のバランスをとることができる
									38	路網の配置や作設方法を理解し、適切に路網計画を作成している 路網の配置計画に必要な資料を収集できる 地形区分（匍行土、堆積土、タナ地形等）とその特徴を知っている ヘアピンカーブ適地や避けるべき箇所を地形図にマークすることができる 作業ルートを図面上に示すことができる 作業システムに応じた必要な路網を計画できる
									39	架線設置に必要な情報等を理解し、適切に集材架線の設計をしている 架線の配置計画に必要な資料を収集できる 集材区域の形状及び林道等の位置を確認し、林道等に交錯し、集材区域の中央部を通過するように図面上に直線を引くことができる 等高線を使用して直線を引いた箇所の断面図を作成し、地面に接触するかどうか確認することができる 空中写真や現地踏査結果から、先柱、元柱等の候補となるものを確認できる 作業ルートを図面上に示すことができる
									40	作業効率やコストを理解し、適切に土場の配置・開設をしている 作業システム及び出材量に応じた土場の確保ができる 土場を開設するコスト、路網を開設するコスト、集材コストを勘案し、最適な土場の数を求めることができる 輸送条件、一条件、集材条件、地場条件を勘案し、最適な土場の位置を設定できる
									41	作業工程や作業能力を理解し、適切に機械を配置している 各機械の性能を十分に発揮できる操作を知っている 組み合わせる機械の大きさの整合性について知っている 工程間のバランスの重要性を知っている 段階的に機械を導入する方法を知っている
									42	素材の需要動向等を理解し、適切に生産目標を設定している 素材の利用実態、生産目標（品質、径級、用途等）について知っている 素材の生産目標（品質、径級、用途等）を年間事業計画に合わせて設定することができる
	現場作業管理	販売製品の設定	S020L33						43	製材・加工品の需要動向等を理解し、適切に生産目標を設定している 製材・加工品の利用実態、生産目標（製品種、品質、用途等）について知っている 製材・加工品の生産目標（製品種、品質、用途等）を年間事業計画に合わせて設定することができる

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	現場作業管理	作業計画 作成 S022L33							44	<p>各現場の事業量や作業体制等を理解し、適切に作業計画を作成している</p> <p>契約済みの施工現場ごとの工期や事業量について知っている</p> <p>契約済みの施工現場を実行する際に、人員、機械の配置・稼働にどの程度の過不足が生じるかを知っている</p> <p>人員、機械の配置・稼働に不足が生じる場合は、外注すべき施工現場を決定できる</p> <p>人員、機械の配置・稼働に余剰が生じる場合は、受注可能な事業を予定することができる</p> <p>契約見込みを含め施工現場ごとに、人員や機械を年間を通じてバランスよく配置できる</p> <p>施工現場ごとに担当責任者を決め、施業指示書等により担当責任者に引継がえる</p> <p>年間計画を作成し従業員に周知することができる</p> <p>月間計画の進捗管理を行い、必要に応じて年間計画を調整することができる</p>
									45	<p>施工現場や進捗状況を理解し、適切に作業工程を計画・調整している</p> <p>契約済みの施工現場ごと（又は作業班ごと）に作業工程を計画できる</p> <p>必要に応じて葉枯らし乾燥等の工程を計画できる</p> <p>週間計画の進捗管理を行い、必要に応じて月間計画を調整することができる</p>
									46	<p>施工現場や進捗状況を理解し、使用する機械や作業内容を調整している</p> <p>契約済みの施工現場ごと（又は作業班ごと）に作業内容、使用機械を計画できる</p> <p>日々の進捗管理を行い、天候等の理由で変更が生じた場合は日程を微調整することができる</p>
	品質管理	環境配慮 S025L33						47	<p>施工に伴う環境への影響等を理解し、適切に施工現場の品質管理を行っている</p> <p>環境に配慮すべき個所（水辺域等）を知っている</p> <p>環境に配慮すべき個所（水辺域等）の調査を実施できる</p> <p>環境に配慮すべき個所をデータ化できる</p> <p>伐採・搬出作業のガイドラインを作成できる</p> <p>機械取扱、機械走行のガイドラインを作成できる</p> <p>燃料・オイル等の取扱ガイドラインを作成できる</p> <p>伐採・搬出作業のガイドライン情報を事業所で共有できる</p> <p>伐採・搬出等のガイドライン遵守の事業所内ルールを作成し、周知・徹底できる</p> <p>ガイドラインに関する意見・経験則を事業所内で収集できる</p> <p>既存のガイドライン見直し作業を実施できる</p>	

■能力評価の基準一覧表 レベル3（選択）

職種名	職務名	仕事名 (能力ユニット)	自己評価			企業評価			整理 番号	評価の基準
			A	B	C	A	B	C		
現場管理	安全衛生管理	安全衛生管理(統括) S028L33							48	関係法令等を理解し、職場内の安全衛生管理を適切に行っている 労働安全衛生法及び関連法令を知っている 現場責任者の安全衛生上の法的責任を知っている 各作業に必要な資格・免許を知っている 年間の事業計画、行事予定等に基づき安全衛生管理計画を立案できる 事業者の安全配慮義務を知っている 安全衛生管理体制を知っている 安全衛生に係る委員会の設置と運営に関する助言ができる 作業員に対し安全衛生管理指導ができる 協力業者に対し安全衛生に関わる指導ができる 作業環境を良好な状態に維持管理できる 労働者の疲労やストレスが過度にならないよう作業を管理できる 労働者の健康状態を把握し必要な措置を執ることができる
									49	リスクアセスメントの実施方法等を理解し、適切にリスク低減対策を行っている 危険要因を洗い出すことができる リスクを見積ることができる リスクを評価することができる リスク低減対策を検討し、実施できる リスクアセスメント実施内容を記録できる
									50	関係法令等を理解し、適切に作業者への安全指導・教育を行っている 労働安全衛生法に基づく雇入時教育、作業内容変更時教育、危険有害業務従事者に対する特別教育を行うことができる 林業における危険有害業務の対象を知っている 労働安全衛生法に基づく安全衛生業務従事者に対する能力向上教育をおこなうことができる 労働安全衛生法に基づく健康教育を行うことができる 労働安全衛生法に基づく法定教育以外の教育で事業主が実施すべきものを知っている 安全衛生教育の指導マニュアルの作成ができる
									51	関係法令等を理解し、適切に安全衛生対策を行っている ツールボックスミーティングの進行手順、実施時留意・チェックすべき点等を指導できる 現場の状況に応じた安全対策の留意点、作業内容に応じた安全作業指示方法等を指導できる 法令に基づき作業主任者を選任する必要があることについて知っている 作業主任者を選任できる
	資材・設備管理	在庫管理 S032L33							52	耐用年数や在庫状況を理解し、適切に資材や設備の在庫管理を行っている 在庫の種類と量（路網関係資材、建設資材、森林保護関係資材等）を把握できる 定期的に資材・設備登録簿の内容に誤りがないか検査できる 保管資材や保有設備の耐用年数を知っている 不良在庫について知っている 耐用年数を過ぎた資材・設備の処分の判断ができる